

個人質問通告書

令和8年2月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
6	千葉 誠 (50分) 【一問一答】	1 一ノ関駅東口工場跡地の利活用について (1) 市では利活用コンセプトを令和7年5月に決定しているが、令和7年10月から開始した土地開発事業者の募集において、具体的にどのように反映させたのか伺う (2) 一ノ関駅東口開発の効果を西側中心市街地の再活性化に確実に波及させるために、現時点で市として考えている駅西口エリアの活性化の取組について伺う (3) 平泉観光圏との連動を意識した駅前ランドマークの導入可能性について伺う (4) 賑わい創出の中核として、ショッピングモール機能及び2,500人規模の多目的ホール機能を検討対象として、要求水準書を修正できないか伺う	市長
		2 公共工事の減少と市内建設業者の維持確保について (1) 直近5年分の発注額・件数の推移を伺う (2) 公共工事の減少が市内建設業者に与える影響及び市としての課題認識を伺う (3) 不調・不落の発生状況について伺う (4) 発注の平準化の考え方や年間発注計画について伺う	市長

個人質問通告書

令和8年2月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
7	那須 勇 (60分) 【一問一答】	<p>1 農業の振興策について</p> <p>(1) 農業に携わる担い手及び農業従事者の確保について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業に携わる担い手不足及び農業従事者が減少している現状をどのように捉えているか ・ 今後の推移をどのように推測しているか ・ 新規就農者の推移、現状、新規農業に携わる要因をどのように捉えているか ・ 新規就農ワンストップ相談件数とその内容は ・ 農業に携わる担い手及び農業従事者を確保するための令和8年度の実施計画は ・ 農業と福祉の連携について市の考えは ・ 農業と建設の連携について市の考えは ・ 地域内連携についての市の考えは <p>(2) 農用地の保全対策について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 荒廃農地の現状と推移は ・ 荒廃農地となる原因をどう捉えているか ・ 中山間地域等直接支払制度の第6期対策に取り組まない農地が増えると、地域が荒廃するのではないかと思うが、市の考えは <p>(3) 農地バンクを活用する目的について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地バンクを活用する目的は ・ 農地バンクを利用して本市で農地を貸借する場合の具体的な流れは <p>(4) スマート農業について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期待される事業効果は ・ 令和8年度の実施計画は <p>(5) 有機農業の推進について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度の実施計画と成果は ・ 目標達成のための令和8年度の予算及び活動計画は <p>(6) 昨年開催された『オーガニックフェスタ in いわて 2025@一関』について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催の経過と目的、主な内容は ・ 地域への貢献について、その効果は ・ 今後、市単独で開催する考えはないか 	市長 農業委員会会長

個人質問通告書

令和8年2月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
8	藤代 崇 (40分) 【一問一答】	<p>1 児童生徒の熊被害防止の取組について</p> <p>(1) 当市の小中学生の安全に係る熊対策の現状について伺う</p> <p>(2) 学校において小中学生向けの熊被害防止の勉強会を行っているか伺う</p> <p>(3) 校舎付近に熊が出没したときに備え、熊撃退スプレーを配置している学校数はどの程度あるか伺う</p> <p>(4) 学校周辺に熊が出没した際に、保護者へ迎えの要請メールが来るが仕事等により保護者が迎えに行くことができない場合の対応はどのようになっているか伺う</p> <p>(5) いわたの森林づくり県民税の制度を活用し、熊等の出没が見込まれる学校周辺の樹木の伐採や、やぶの刈払い等の環境整備を行う考えはないか伺う</p> <p>2 インバウンドを含めた観光振興について</p> <p>(1) 当市におけるインバウンドの現状について伺う</p> <p>(2) 当市における今後のインバウンド誘客の取組の方向性について伺う</p> <p>(3) 一関商工会議所が2026年5月頃に移転することに伴い、同一建物内の一関市観光協会も移転すると思われるが、今後どこに移転するのか伺う</p> <p>(4) 市長はインバウンド誘客やビジネス関係構築のため、台湾を複数回訪問しているが、現時点でのインバウンドの成果について伺う</p> <p>(5) 訪日外国人客数第3位 676万人の台湾のみならず、第1位 945万人の韓国、第2位 909万人の中国等の他のアジアからの誘客も目指すべきだと考えるが、見解を伺う</p> <p>(6) さらなるインバウンド誘客に向け(仮称)インバウンド推進室を設置する考えはないか伺う</p>	市長 教育長

個人質問通告書

令和8年2月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
11	沼倉憲二 (40分) 【一問一答】	1 令和8年度施政方針について 施政方針では、分野ごとの取組が列挙されているが、各種施策が展開されるのは地域であり、地域施策が急がれる (1) 施政方針では、人口減少が進む現状に対する危機感と早急な地域施策が見られないが、地域施策にどのように取り組み、どのように振興しようとしているのかについて伺う (2) 特に、市内の多くを占め、人口減少が著しい中山間地の農業、景観、コミュニティーの振興や維持を図るための総合的、具体的な対策について伺う	市長
		2 行財政の見通しについて 人口減少が進む中で今後の行財政の基本的な見通し、特に職員の確保と基金の在り方について伺う (1) 行政施策の推進に当たっての職員の役割と確保の状況について伺う (2) 定員適正化計画を下回っている現状は、施策推進上の支障となっていないかを伺う (3) 特に、専門職の確保が難しくなっている状況と対策について伺う (4) 今後の厳しい財政運営の中で、基金の活用が重要となっているが、多額となっている市債管理基金の在り方と財政調整基金との違いについて伺う	市長
		3 社会インフラ整備と市内業者の現状と役割について 市民ニーズが多く、地域活性化の面でも重要な道路や、橋、上下水道などの社会インフラの整備は、安心安全や利便性向上の面から重要であり推進すべきと考える (1) 社会インフラ整備についての基本的な考えと事業推進の考え方及び事業費確保について伺う (2) インフラ整備を担っている市内業者の現状と役割をどのように捉え、対策しているのか伺う	市長
12	石黒一広 (50分) 【一問一答】	1 有機農業の推進について (1) 有機農業を支援する補助制度について伺う (2) 予算の内訳について伺う (3) 有機農業を推進するための各種情報提供について伺う (4) 全国に向けて当地区の農作物をPRした実績があるか伺う	市長
		2 外国人就労者について (1) 働き方改革と人手不足の矛盾について伺う (2) 外国人就労者向け支援制度の実態について伺う (3) 特定技能2号の外国人就労者について伺う (4) 数年後には様々な業界でAI、DX化推進が予測されており人手不足が解消されむしろ失業者も増えてくるおそれもあると推測されているが外国人就労者受入れを踏まえ地元就職者や就職希望者への支援をどのように強化していく方針か伺う	市長

個人質問通告書

令和8年2月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
13	菅原行奈 (60分) 【一問一答】	1 みんなの食堂(こども食堂)への支援について (1) 令和2年度より「子どもの居場所づくり推進事業費補助金」制度が施行されているが、その実績と評価を伺う (2) 今年度「みんなの食堂支援報償金」交付制度が施行された制度が創設された経緯を伺う また、直近までの実績を伺う (3) 「みんなの食堂支援報償金」交付額を増額する考えはないか伺う	市長
		2 移住定住者への支援制度について (1) 移住定住促進事業の取組を伺う (2) 移住定住者の、過去3年間の実績を伺う (3) 市では、移住支援補助金として「移住支援金」「地方就職支援金」など交付事業があるが、そのあらましを伺う (4) 一関市独自の取組にはどのようなものがあるのか伺う (5) ホームページなど、どのようなことに気を付けて取り組んでいるのかを伺う (6) 今後、どのような方法でPRをやっていくのか伺う	市長
14	森英隆 (40分) 【一問一答】	1 市内の児童生徒の体力向上と運動機会の確保について (1) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について伺う ・ 全国、県と比較した一関市の現状について ・ 課題と今後の目標は (2) 体力向上のための取組について伺う ・ 市内の小中学校に対しての指導は ・ 中学校における放課後の運動機会の状況について伺う ・ 授業以外での運動機会の二極化についてどう捉えているか (3) 室内での運動機会の必要性をどう捉えているか伺う ・ 室内遊び場などの全天候型施設は必要と考えているか ・ 冬期の機会確保のための千厩アイスアリーナの早期改修が必要だと思われるが、市の考えは	市長 教育長
		2 一関市の公式ホームページについて (1) 一関市の公式ホームページの評価を伺う ・ 市の評価は ・ 市民からの評価は (2) ホームページの制作と管理運営方法について伺う ・ 制作は外部委託か市が行ったのか ・ 情報の更新の頻度と誰が行っているのか ・ 不要となった情報の削除は行っているのか 行っている場合はその要件は (3) 今後、改善の意思はあるか ・ 改善する場合、公開までのスケジュール、完成時期の目標	市長

個人質問通告書

令和8年2月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
17	千葉ちあき (60分) 【一問一答】	<p>1 巖美溪 100 周年に向けての取組について 本市には多彩な観光資源があり本市を訪れる観光客は年間約 200 万人である (令和6年度実績) 高速道路や一ノ関駅から近い代表的な観光地として巖美溪が挙げられるが、2027 年は巖美溪が名勝・天然記念物に指定されて 100 周年を迎える記念すべき節目の年である</p> <p>(1) 巖美溪の直近 2024 年度の観光入込客数を伺う (2) 巖美溪付近、旧国道 342 号沿いの環境整備として草刈りや大雨後の倒木確認は市で行っているのかを伺う (3) 国の名勝・天然記念物に指定されて 100 周年を迎える巖美溪の記念行事をどのように考えているか伺う (4) 観光客誘致、市内への宿泊促進、滞在を延長する取組をどのように考えているか伺う</p>	市長
		<p>2 生涯現役社会に向けた高齢者福祉施策について 当市の 65 歳以上の人口の割合を示す高齢化率は 38.6%に達している (2024 年 10 月時点) シニア層の方でも健康であれば働きたい、何らかの形で社会と関わり続けたいとの声が多数ある中で、シニア層の方の知識や経験を生かしていただくことが市民一人一人の生きがいつくりや、地域の持続可能性という観点からも重要だと考える</p> <p>(1) 本市におけるシニア層の就労や社会参加の現状をどのように認識しているか伺う (2) 高年齢者雇用安定法の改正による就労年齢の引上げの中でシルバー人材センターをはじめとしたシニア層が働く機会を得られる取組に対して市としてどのような役割を担うものと捉えているかを伺う (3) 静岡県浜松市が取り組んでいる「70 歳現役都市」について本市としてどのように評価し、参考にできる点があるかと考えるか伺う (4) 本市においてシニア層の新しいスキルを習得する支援事業を行っているか伺う (5) 働くという選択肢のほか地域とつながる場として貸し農園を提案整備していく考えはないかを伺う (6) 生涯現役で活躍できる社会づくりについては、複数の分野にまたがる取組であるかと考えるが直ちに制度や予算措置を行うかは別として、生涯現役という視点を市政運営における一つの方向性として整理していく考えがあるのか市の見解を伺う</p>	市長

個人質問通告書

令和8年2月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
18	猪股晃 (50分) 【一問一答】	<p>1 放課後児童クラブについて</p> <p>(1) 放課後児童クラブの役割を伺う</p> <p>(2) 本年度における放課後児童クラブの設置数と利用する児童数と市内児童数に占める割合を伺う</p> <p>(3) 放課後児童クラブを利用する児童数の経年推移と利用傾向を伺う</p> <p>(4) 放課後児童クラブの利用希望に対する充足状況を伺う</p> <p>(5) 放課後児童クラブにおける障がいがある子供の受入実績を伺う</p> <p>(6) 放課後児童クラブの利用料と料金の設定根拠を伺う</p> <p>(7) 放課後児童クラブの運営委託料の積算内容を伺う</p> <p>(8) 県内や隣接自治体の利用料には大きな相違があるように見受けられるが、その理由の分析を行っているか伺う</p> <p>(9) 子育て支援の充実を図るためにも、利用料の低減を検討する考えはないか伺う</p>	市長
		<p>2 農業関係団体・組織からの意見、要請について</p> <p>(1) 農業委員会から提出された農地等の利用の最適化の推進に関する意見書に対する市の回答について、農業委員会会長の所感を伺う</p> <p>(2) いわて平泉農業協同組合から、昨年10月に提出された要請書に対する市の対応を伺う</p> <p>(3) 意見、要請への対応として、令和8年度において、新規、拡充する予算や取組について伺う</p>	市長 農業委員会会長
19	千葉栄生 (40分) 【一問一答】	<p>1 住宅環境改善リフォーム補助事業拡充と地元事業者支援について</p> <p>温暖化により年々気温が高くなり熱中症などによる生命の危機とも言える環境変化が長期化することが懸念されている</p> <p>気候変動から住民を守り、安心して住み続けることができる住宅環境改善を図ることが急務である</p> <p>さらに、本事業は経済効果も大きい事業であり市内の事業者支援につながることから事業の拡充が必要である</p> <p>(1) 本事業ニーズの把握と今後の見通しについて伺う</p> <p>(2) 事業内容と予算の拡充など行う考えはないか伺う</p> <p>(3) 本事業による市内事業者の影響・効果を捉えているか伺う</p>	市長
		<p>2 ごみの減量化促進の取組について</p> <p>環境と共存するまちを目指して自然と資源の保全に取り組み、次世代に引き継ぐまちづくりが求められている</p> <p>(1) 減量化に向けた取組状況と課題について伺う</p> <p>(2) 一関地区広域行政組合で行ったコンテナ回収実証事業について、市としての対応と見解について伺う</p> <p>(3) 減量化を加速させるための今後の取組について伺う</p>	市長